SDGs未来都市としま

豊島区 TOSHIMA CITY

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

豊島区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

令和８年11月９日
豊　　島　　区

# 独立行政法人日本学生支援機構が発行する ソーシャルボンドの購入について

令和２年７月、豊島区は東京都で初めて「ＳＤＧｓ未来都市」及び「自治体ＳＤＧｓモデル事業」にダブル選定され、ＳＤＧｓの目指す「誰一人取り残さない」社会の実現に取り組んでいます。

基金の運用においてもＳＤＧｓの推進に貢献するため、令和８年11月９日、独立行政法人日本学生支援機構が発行するソーシャルボンド（ＳＤＧｓ債）を購入しました。本区が日本学生支援機構のソーシャルボンドを購入するのは、令和５年度に引き続き３回目となります。

## ○　選定理由

- ソーシャルボンド（ＳＤＧｓ債）により調達された資金は、第二種奨学金の在学中資金に充当される。そのため、債券の購入は、ＳＤＧｓの目標4.「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」に資金面で貢献するものである。
- 独立行政法人が発行する債券であり、利子補給金や国庫補助金による国からの財政面のサポートがあり、安全性が高い銘柄である。
- 国内債券市場において、「教育」という社会的課題の解決に資する債券の発行事例は限定的であり、本債券の希少価値が高い。

今後も本区は、ＳＤＧｓ未来都市として、ＳＤＧｓの理念や目標を踏まえて積極的な取り組みを推進し、国際アート・カルチャー都市の実現に努めてまいります。

## ※　ＳＤＧｓ未来都市・自治体ＳＤＧｓモデル事業とは

「ＳＤＧｓ未来都市」とは、ＳＤＧｓの理念に沿った取り組みを推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通し、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域を内閣府が選定するもの。また、その中で特に先導的な取り組みが「自治体ＳＤＧｓモデル事業」として選定される。（参考リンク：「SDGs未来都市」豊島区）

## ※　ソーシャルボンドとは

資金使途が社会的課題の解決に資するものに限定される債券。独立行政法人日本学生支援機構が発行するソーシャルボンドは、教育の機会均等を与える取り組みを資金面で支援する債券である。